

# 化学

## Chemistry

教授	高橋 康丈	Yasutake Takahashi
准教授	杉森 保	Tamotsu Sugimori
助教	角田 広子	Hiroko Kakuda

### ◆ 研究概要

高橋康丈：有機および生物有機光化学反応の中間体に関する研究。

杉森 保：フェニル誘導体の導入を基盤とする両親媒性フタロシアニン錯体の合成。

角田広子：超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応の開発とその応用。

### ◆ 学会報告

- 1) Isago H, Fujita H, Sugimori T. Phosphorous(V)-phthalocyanines emitting intense fluorescence in the optical therapeutic window. The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015; 2015 Dec 15-20; Honolulu.
- 2) 藤城 零, 和田和樹, 池上崇久, 杉森 保, 半田 真. 環周辺にカルボキシフェニルオキシ基を導入した水溶性フタロシアニン亜鉛(II)錯体の合成と性質. 日本化学会第 95 春季年会; 2015 Mar 26-29; 船橋. (3F6-31)
- 3) 藤城 零, 池上崇久, 杉森 保, 半田 真.  $\alpha$  位または  $\beta$  位に水溶性置換基を導入したフタロシアニン亜鉛(II)錯体の合成と性質. 錯体化学会第 65 回討論会; 2015 Sep 21-23; 奈良. (2PA-081)
- 4) 藤城 零, 池上崇久, 杉森 保, 森 重樹, 半田 真. 水溶性置換基を導入したフタロシアニン亜鉛(II)錯体の性質と構造. 第 26 回基礎有機化学討論会; 2015 Sep 24-26; 松山. (2P008)
- 5) 藤城 零, 園山隼人, 池上崇久, 杉森 保, 森 重樹, 半田 真. アニオン性または, カチオン性の置換基を導入したフタロシアニン亜鉛(II)錯体の合成と性質. 2015 年日本化学会中国四国支部大会; 2015 Nov 14-15; 岡山. (14SD03)
- 6) 宮崎純花, 藤城 零, 園山隼人, 池上崇久, 半田 真, 杉森 保, 松林和彦, 今若直人, 吉野勝美. 環周辺にカルボキシル基を導入したフタロシアニン亜鉛(II)錯体を用いた色素太陽電池の作成. 2015 年日本化学会中国四国支部大会; 2015 Nov 14-15; 岡山. (15P22)
- 7) 角田広子, 桐原正之, 高橋康丈. 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応及び iminosugar に対する 2-deoxy-2-fluoro 類縁体の合成研究. 日本薬学会第 135 年会; 2015 Mar 25-28; 神戸. (27PB-pm022)